

新基地建設反対名護共同センターニュース

「めんそーれー」「お帰りなさいー！」

式典で玉城デニー知事は「まつちよーんたんどー」と声をかけ、ちむぐくで温かくお迎えしましょう」と呼びかけました。移民県である沖縄をルーツに持つ人は世界に42万人がいると言われており、3日の閉会式までに、「ウチナーンチュウがウチナーンチュウであることの誇り」を確認しあうことにしています。

「第7回世界のウチナーンチュウ大会（主催・同実行委員会）が30日、6年ぶりに開幕されました。那覇市の国際通りで開かれた前夜祭パレードには、各国の民族衣装などを身につけた13か国からの約3千人が参加。国際通りを埋めつくした県内外の多くの人から「めんそーれー」（ようこそー）、「お帰りなさいー」など熱烈的な歓迎を受けました。



世界のウチナーンチュウ大会参加者がパレード

「塩川港のベルコン不使用の際は撤去させるべきだ」



北部土木事務所（向こう側）に要請する本部町島ぐるみ会議の人々

本部町島ぐるみ会議が 北部土木事務所に要請
本部町島ぐるみ会議の具志堅正英事務局長代表が10月26日、沖縄県北部土木事務所を訪れ、辺野古埋め立て土砂の海上輸送で防衛局が塩川港を利用しての諸問題について要請しました。土木技師の北上田毅氏も同席しました。
9月の使用3日、10月はゼロ
代表らは「台風の影響などで9月は3日のみ、10月は1日もベルトコンベアを使用しなかった。その間、構内の約3000㎡もの敷地は他の業者が利用できなかった。長期に使用しないときは撤去させるべき」と要請しました。北部土木事務所側は「使用許可の範囲内だ」との認識を示しました。
代表はこの他、防衛局による事前の住民説明会での塩川港からの土砂の搬出回数や時間帯などが実態と食い違っている点などについて防衛局を指導するように求めました。
要請終了後、代表らは県港湾課へも要請を近く行うことにしました。

デニー知事と未来を語る！

島ぐるみ会議名護 総会
日時/11月5日(土) 14:00~16:00
場所/名護市大北区公民館
※どなたでも参加できます。
★舞台・ホール
14:30~ 島ぐるみ会議名護総会
15:00~ 玉城デニー知事講演
「誰ひとり取り残さない県政のために」
★展示コーナー
●島ぐるみ会議の歴史 ●危険！名護の上空
●辺野古大浦湾の海を守ろう！海上行動
★フィールドワーク
グラスボート乗船 11月6日(日) 開催
汀間漁港集合・各50分遊覧(1000円)
1回目 10:00 2回目 11:00 (各先着10名)
申し込み先 090-9081-1597 (豊島宛)
主催: 島ぐるみ会議名護・名護市大南 1-10-18-101
☎090-1518-5640 (比嘉) 090-1941-6705 (上野)

第1土曜のゲート前県民大行動
主催 オール沖縄会議
日時 11月5日(土) 午前11時
場所 キャンプ・シュワブゲート前
※新基地断念を求める初の国会請願署名運動の成功をめざす大行動です！



10月27日(木)のゲート前には、うるま市、沖縄市など各地島ぐるみから70人を超える県民が座り込みました。10数人の仲間と駆け付けた沖縄平和市民連絡会の前川盛治事務局長次も「辺野古が負けたわけではないからねー」とカメラ片手に元気に参加。屋良朝博前衆議院議員(写真)がマイクを握り「那覇市長選は残念だったが、辺野古新基地建設を那覇市民は容認したわけではありません。ゲート前の闘いはいよいよ重要ですよ」と訴えました。

辺野古が負けたわけではない
ゲート前で70人余が元気に座り込み